

山口新聞

平成26年6月6日(金)

NO.107

農地・水環境

守ろう地域の手に



107

管理を地域全員で行い、現発足して以降、堰の管理に在に至っている。近年、病加え、年2回の土手の草刈り、町内会による環境整備残った農地は農振地域として守られている。

榑西小学校の通学路でもあり、散歩する人も多い土手道には、4年前から彼岸花の球根を地域全員で植付け、9月中旬旬ごろに住民の目を楽

当地区は阿武川の河口付近で分岐し、南側を流れる橋本川沿いの風光明媚な萩八景の一つ、小松江に位置している。

年1〜2回の水路の泥上げ、藻の除去、大屋川堰の

青海水土里保全会(萩市)

耕作放棄地を出さない、念頭に

しませてくれる。

農地を守っていくためには、耕作放棄地を出さない―これを念頭に置き、水路、堰の管理、環境整備に力を入れていきたい。

(会長、堀敏夫)
 金曜日掲載



上 会員の皆さん
 下 農道補修の様子



【メモ】会長 堀敏夫
 役員 15人、農家(13戸)、青海町内会、門田樋水利組合 設立 2008年10月19日 連絡先 萩市榑4103、堀敏夫さん ☎08338・226850